



根知小発！ジオパークの大自然と向き合う地域防災教育



1. 第3回避難訓練

(1) 火災発生時の避難訓練

昼休み中（13：10）に火災が発生（火災警報機が鳴動）。児童は、自分で判断しながら安全な場所に避難しなければならない。職員は、校舎内に児童が取り残されていないかを確実に確認しながら、避難してきた児童の安全確認と安全確保をしなければならない。

火災警報機の鳴動（発報）→ 自火報感知機（複合受信機）で出火場所の確認

現地確認指示 ・ 緊急放送①での避難指示

消防署からの電話対応 ⇔ 現地確認・初期消火 児童各自避難行動、職員避難誘導開始

状況報告・緊急放送② 避難完了・人員点呼

今回の避難訓練については、児童への予告をせず、昼休み中に実施しました。児童は、火災発生場所と避難場所を確認し、各自で近くの非常口から避難しました。教室から避難した児童は、いただいた防災頭巾を頭にかぶって避難していました。避難後に、市消防署の方から次のような講評をいただきました。



- ・避難指示放送から児童、職員の避難確認報告が完了するまで約3分、この学校規模における火災発生時の避難としては、とても速やかに避難し問題はありません。
- ・「お・は・し・も」についてもよくできていました。
- ・職員も声をかけながらトイレの中まで確認しており、問題点はありません。
- ・靴紐がほどけていたりする人はいませんか？（若干名挙手）日頃から避難行動を考え、靴紐がほどけないよう工夫するなど注意しましょう。

(2) 消火体験（バケツリレー）

バケツに水をくんで火元（90ℓポリバケツ）まで水を効率よく運ぶ訓練を行います。バケツ（8ℓ）を用いて、ポリバケツが水でいっぱいになるように縦割り班（4つ）で相談して運びましょう。

- ①縦割り班ごとに相談し、4つの班で競うようにポリバケツへ水を運びました。どの班も8人が2～4mくらいの間隔で並び、次の人まで走ってバケツをリレーしながら水を運びました。水の入ったバケツ（約7kg）を持って走るため、重くつらい思いをしながらも水が結構こぼれてしまいました。
- ②消防署員の方から、阪神淡路大震災の際にバケツリレーをして消火作業をしたことやその時の方法について紹介してもらいました。その後、4つの班で協力し、全員が片手間隔（移動せずに手渡しできる間隔）で1列に並び、手渡しでバケツをリレーすることにしました。空になったバケツは、足の速い児童数人が走ってもとにもどす役を務めました。お互いに声をかけ合っていくことの大切さを学びました。また、楽に効率よく水を運べることに興味する児童や自分の長所をいかせたことで役立てたという有用感をもった児童の姿が見られました。



①縦割り班で相談してバケツをリレーする様子

②消防署の方から説明を聞いてから、1列でバケツをリレーする様子

(3) 煙道通過体験

火災時の煙は有毒です。ハンカチや衣服の袖で口をおさえ煙を吸い込まないようにしなければなりません。煙は上の方からたまるので、身を低くし煙の薄いところを通る必要があります。

消防署の方の話を聞いた後、緊張しながら煙でほとんど前が見えない教室の中をはうようにして移動しました。みんな口を押さえながら、目印のコーンをたよりに必死に進みました。



(4) 「あっ火事だ！煙だ！どうなる？どうする？」

煙道体験後に、消防署の方から火災発生時の行動の仕方について学びました。

- ・学校の訓練はこれからを生き抜くために行われます。煙は本当に危険です。この訓練をぜひいかしてほしいと思っています。自分だけで、何とかしようと思うのではなく協力を求めることが大事です。
- ・今回、バケツリレーは 一列で行いましたが、ちどり方式もあります。(省略)



- ・自分達のことは自分たちで守ろう！練習すれば上手くなる。上手くなると自信をもってできる。うまくできるようになってそれが身に付くのです。
- ・根知小は防災教育に熱心に取り組んでいますが、学んだことを他の人にも教えてあげられるようになりましょう。みんながけん引役となってください。
- ・学校のような建物は、廊下の煙りは窓を開けて排煙してください。木造建設は、黒くて黄色みのある煙がでます。フラッシュオーバーがあり、窓を開けるのは危ないです。
- ・子どもが起こす火事としては、火のいたずらが多いです。
- ・消火器で消せる火は、天上に火が届いていない状態のものです。天井に火が届いていたら消火を考えずに人に知らせ逃げましょう。
- ・粉の消火器は、使用すると粉で回りが見えなくなるので逃げ道を確保してから使用しましょう。
- ・消火器は、子どもでも扱えるが、安全を最優先してください。(子どもでも使えるようになって欲しいと思います。)

(5) 職員研修

放課後、災害時の対応について消防署の方を講師として職員研修を行いました。消火栓とポンプの場所の確認やホースの取り出しと収納の仕方も確認しました。最後に、これまでの防災教育については、「問題がないので、この方向で迷わず進めてほしい」と力強いお言葉をいただきました。

2. 公民館大会（地域防災懇談会⑤）

根知公民館主催の公民館大会が下記の内容で行われました。当日は、当校職員も参加し、地域防災について研修を行いました（地域防災懇談会）。地域防災においては、「人と人とのかわりが重要であること」を確認しました。当校でも、来年の防災教育では、「人と人とのかわりを重視」して取り組んでいきたいと考えています。

- ①東日本大震災等パネル展示（9：00～16：00）
- ②非常食の調理体験と試食（11：00～12：30）
- ③講演「日本海の地震と津波」（13：10～14：10）
講師 竹之内 耕さん（市学芸員）
- ④講演「災害と公民館・コミュニティー」（14：20～15：10）
講師 茂田井 信彦さん（米山公民館長）
- ⑤実践発表 「防災教育チャレンジの取組」（15：20～15：50）
発表者 宮川 高広（根知小学校教頭）
- ⑥実践発表 「自主防災組織の設立の取組み」（15：55～16：20）
発表者 源馬 幹一さん（根知振興協議会総務）

